

おおはらぼん



第14回島根県作業療法学会を終えて

第14回島根県作業療法学会 学会長
社会福祉法人 島根整肢学園 西部島根医療福祉センター
引地 晶久

令和最初の作業療法学会が2019年12月1日に開催されました。多くの方のご協力のもと、盛会に終わることができましたこと、厚く御礼申し上げます。そして、開催にあたり、ご支援を賜りました企業の皆様、ならびにご後援頂いた関連団体様に重ねて御礼を申し上げます。

今年度の学会は江津・浜田・邑智ブロックの運営で、江津市にある重症心身障害児者の入所施設でもある西部島根医療福祉センターを会場に開催しました。参加者の総数は126名！作業療法士はもちろん、理学療法士や介護士、学校関係、当事者、ご家族、未来の作業療法士の学生まで、多職種の方が参加してくださいました。さらに島根県外の方からも多数の参加がありました。こんなにも多種多様の参加があった島根県作業療法学会は今までなかったのではないのでしょうか！？

学会のテーマは『ICT×作業療法～「わかる」を発見！「できる」を引き出す！～』です。ICT機器の持つ可能性を知ってもらいたい、ICT機器を身近に感じてもらいたい、という思いで企画しました。この学会の一番の特徴は、3名の豪華な講師の方に来てもらったことです。なんとその中の2名は重度障害を持つ当事者の方です！特別講演やパネルディスカッションで、たくさんの事例や実際の生活の様子、そして当事者からの生の声を聞くことで、参加された方の心に響く時間になったのではないかと思います。さらに福祉機器展も5団体にご協力いただき、最新機器に実際に触れてもらうことができました。少しでもICT機器の持つ“可能性”を感じてもらえたのなら嬉しいです！

また一般演題も様々な分野の方からの発表があり、これからの支援の幅をひろげることができました。さらに学生発表の時間も設けました。まとめるのは大変だったと思いますが、この経験が作業療法士になった際の力になると信じています。

今回のテーマは「ICT」でしたが、その中枢には、“障害を持つ方の可能性を信じ、可能性をひろげる支援をしていく”という、作業療法士として、ひとりの支援者として、社会に生きる人として、とても大切にしなければならない思いが詰まっていたと思います。参加された皆さんにとって、この学会の時間がこれからの支援の力になってくれたら幸いです。

この学会に関わってくださった皆さん、本当にありがとうございました！これからも島根の作業療法を盛り上げていきましょう！

【3名の講師陣】



最高の時間をありがとうございます！

【懇親会】



県外からの参加も多数！出会いに感謝

【特別講演～島根大学総合理工学研究科助教 伊藤史人さん】



伊藤さんからは、「テクノロジーの活用でひろがる重度障害者の可能性」をタイトルに、多くの事例を通じて分かりやすく、時にはユーモア溢れる切り口で、そして熱意あふれる思いを参加者にぶつけてくださいました！

【特別講演～ワンスイッチのスペシャリストの早川幸希さん】



脊髄性筋萎縮症の方でストレッチャー型の車いすに乗り、呼吸器を付けており、唯一動かせるのは指一本のみです。ワンスイッチで様々なICT機器を活用し、生活を豊かにし、多くの人と繋がり、そしてたくさんの夢を持って生活していることを教えてくれました。幸希さんが指一本でどんな未来を描くのか今から楽しみです！

【特別講演～盲&ろう&電動車いすユーザーの橋本紗貴さん】



盲、ろう、上下肢障害、感覚障害と障害の数は数えきれません。しかし、紗貴さんは多くの機器を使い生活しており、今回の講演でもパソコン、iPad、視線入力装置、自作したスイッチなど様々な機器を使っています。機器を使うことで様々な壁を乗り越え、職員採用試験にも合格し、来年から教師として働きます。最後の“努力し続けるといつか必ず夢は叶う”という言葉は、心に深く突き刺さりました。

【講師の声】

☆早川幸希さん☆



島根へ呼んでくださり、ありがとうございました！皆さんの熱いパワーが溢れる前夜祭と学会に参加することができて、「人の中にいる」っていいなあ、と改めて思った2日間でした。
 会いたかった人に会えたり、人生初ジビエに挑戦してみたり、島根には新しい体験がたくさん詰まっていました。
 またパネルディスカッションでは、話すのが苦手な私の声をちゃんと受け取ってくれる人がいると分かって心強かったです。これからは少しずつ声を出していけたらいいな、と思いました。
 皆さんと私の小さな一歩が、未来を変えていけますように。

☆橋本紗貴さん☆



学会を通して、過小評価してはいけないことが改めて分かりました。周りの人が信じて待っていてくれること、それが子どもにとって大きな心の支えになり、自分から何かを伝えようという気持ちになると思いました。私も家族、学校の先生や周りの人が信じて待っていていなかったら、きっと受け身の人生になっていたと思います。けれど、たくさんの方が色々な経験をさせてくださったことで自信につながり、最後まで頑張り続けることができました。だからこそ、子どもの可能性を信じて待つことが大切だと感じました。

今回の学会に当事者の方を講師として呼びできたのは、とても大きなことだったと思います。

障害があっても、しっかりと適切な支援があればこのように社会参加も可能になります。

これから彼女たちは、どんどん社会に出て活躍し、夢を叶えていくことでしょう。

そんな人生を豊かにする、人生を楽しくする支援を作業療法士として目指したいです！

【番外編～学会誌の文字やイラストは私が書きました♪～】

福岡県の小学生のルカさんが今回の学会誌のイラストや文字を描いてくれました。視線入力装置とスイッチを活用して描いています。ルカさんも機器を活用して社会で活躍するひとりになるはずですよ！



学会誌になったことを喜んでくれました！

作業療法フェスタ2019 開催報告 & 入賞作品結果発表!!

令和元年9月16日(月)にゆめタウン出雲にて「作業療法フェスタ2019」を開催いたしました。フェスタ当日は400名を超える方に会場頂きました。今年のフェスタは作品展示・作業体験の他、自動車運転関連機器紹介ブース・ITブース・福祉用具ブース・書籍紹介ブースなど盛り沢山の内容でどのブースでも作業療法士が作業療法を伝えようと来場者一人一人と関わっていたのが印象的でした。

作品展示では県内より15施設114点の作品の応募を頂きました。どの作品も作成者の思いの詰まったとても大切な作品で、観ているだけで元気になれる!そんな作品ばかりでした。自分の作品や家族の作品を見に来た方や初めて作業療法で作成した作品を見た方、昨年に続き見に来て頂いた方など様々な方がいらっしゃいました。来場して頂いた皆様の投票により最優秀賞1点・優秀賞3点・入選6点の入賞作品が決定いたしました。

入賞した作品は令和元年9月29日(日)入賞作品展と表彰式を開催いたしました。当日は、多くの作成者の方に表彰式に出席して頂きました。入賞された作成者の皆さんが賞状を受け取る姿をみてもっと沢山のの方にこの感動を伝えられたらと思いました。

お忙しい中、出席頂いた作成者の皆さん、足を運んでくださり本当にありがとうございました。来年度も作業療法フェスタは開催予定です。今回は出品がかなわなかった方、出品したけど惜しくも入賞は逃した方、次回はぜひ挑戦してみてください!沢山の作品の出品をお待ちしております!

今年度も作業療法フェスタ2019を開催することができ、多くの皆様のご支援、ご協力に感謝申し上げます。



入賞作品



西川病院精神科デイケア デイケア来夢アニメクラブ様
作品名:『ペーパークイリングとアニメ女子』



祝部 英明 様 作品名『一人ひとり輝く姿』
 デイサービスキートス様 作品名『スクラッチアート』
 松江市立病院デイケア様 作品名『それいけアンパンマン!!』



西川病院3病棟様 作品名『石見神楽 八幡』
 デイケアピノキオ様 作品名『神奈川冲浪裏』
 石川 重弘 様 作品名『城』
 松ヶ丘病院様 作品名『チョコちゃん』
 デイケアひだまり
 貼り絵グループ様 作品名『はじめ人間ギャートルズ』
 松井 幸男 様 作品名『しまねっこしゃもじ』



作品名：ペーパークイリングとアニメ女子

作者：西川病院 精神科 デイケアデイケア来夢 アニメクラブ

入賞コメント：ペーパークイリングは時間のかかる作品です。

根気と元気がないと出来ません。アニメ女子も時間をかけてかきました。何も見ないでいつもかいています。皆さんのおかげで入賞しました。ありがとうございました。



作品名 一人ひとり輝く姿
作者 祝部 英明



入賞コメント：どうも、祝部です。私は右片麻痺の為、左手で撮影しています。このように表彰していただくことで、今後の作品作りの励みにつながります。だんだん。



作品名 スクラッチアート
作者 デイサービスキーツ

入賞コメント：デイサービスに通っていただく中で、自身の出来ること、出来ないこと、やりたいこと、やってみたいことなど様々な事が見えてきます。今回は、初めての挑戦でもあったので、簡単にそして綺麗に仕上げることのできるスクラッチアートを提案させていただきました。いざ取り組んでみると片手でもやりやすく、どんだんのめりこんでいってました。自分に自信がつき、今回の作業療法フェスタへの出展につながりました。また、入賞させていただいたことにより、新たなチャレンジへの後押しともなりました。もう既に新たなチャレンジへの一歩を踏み出し、どうすれば出来るかを考えている最中なので、来年以降も作業療法フェスタへの出展や他の活動へチャレンジしていきたいです。



作品名 それいけアンパンマン!!
作者 松江市立病院デイケア

入賞コメント：入賞ありがとうございます。私たちは作業療法フェスタ作品展に応募するようになって3回目です。今回は、「入賞する」を目標にこの作品を作りましたので、目標が達成できてとても嬉しいです。ペーパーロールアートは、画用紙を同じサイズに『線を引き』、『切って』、『丸めて』、『貼る』作業です。皆で相談しながら、自分の得意な工程を決めて行のですが、それぞれに協力し合いながら作りました。最初は、気が遠くなるような作業でしたが、少しずつ形になると、「お～出来きた～」と嬉しくなり、また頑張ろうと思えるようになりました。自分たちの努力の成果を皆さんに見ただけて、私たちも大満足です。これを励みに、またみんなで、来年の作品展に向けて頑張ります。

入選



作品名 石見神楽
作者 西川病院
病棟 八幡

入賞コメント：何か皆で作品を作ろう！の思いから始まった作品作り。島根県民が愛する石見神楽。下絵選びから色選び、作品に使う貼り絵の素材選びまで皆で行いました。皆の頑張りが1つの作品という形になり、この度の受賞を頂きとても感慨深いです。素敵な賞を有り難うございました。



作品名 チコちゃん
作者 松ヶ丘病院

入賞コメント：多くの患者さんと、各作業工程を役割分担しながら協力して作製したロールピクチャー作品です。「ポーっと生きてんじゃねーよ！」の名台詞で患者さんにも人気のチコちゃんを作りました。大満足の愛らしいチコちゃんが完成しました。この度一生懸命作成したものが入賞したと聞き、患者さん・スタッフ一同大変嬉しく思っています。本当にありがとうございました。



作品名 しまねっこしゃもじ
作者 松井 幸男

入賞コメント：入賞することを目標に1年前から構想を練り始めました。子供の投票も考えて、子供に人気のしまねっこを作品に取り入れました。作戦通り、入賞することができました。ありがとうございました。



作品名 城
作者 石川 重弘

入賞コメント：銅板細工は初めて行いましたが、このように評価していただき、大変嬉しく思います。ありがとうございます。



作品名 神奈川沖浪裏
作者 デイケアピノキオ

入賞コメント：この度は、デイケアピノキオの皆で作成した砂絵が入賞出来とてもうれしく思います。制作に時間がかかり、とても大変でしたが、皆で協力して完成して良かったです。



作品名 はじめ人間ギョートルズ
作者 デイケアひだまり
貼り絵グループ

入賞コメント：毎年入賞することを目標に取り組んでいます。昨年は「島根のモナ・リザ」で入賞することができ、慰労会で今年の題材を皆で相談し、松江市出身の園山俊二さんの作品「はじめ人間ギョートルズ」を作ることに決めました。今年も入賞することができ、貼り絵グループのメンバーはもちろん、見守ってくれたデイケアのメンバー全員喜んでます。1年間頑張ってきて本当に努力が報われた気持ちでいっぱいです。今年も慰労会を開催し、来年も入賞できるよう題材選びからしたいと思っています。本当にありがとうございました。

2019年度

中国地区合同作業療法研修会

中国5県の作業療法士と交流してきました！！

11月23-24日に山口県で開催された中国地区作業療法合同研修会(旧)中国地区リーダー研修会に参加してきました。

全国的には地方ブロック学会が開催されていますが、中国地方にはブロック学会はありません。そのため、この合同研修会を通して、中国5県内で研鑽を積み、交流しています。

研修会1日目はクローズ研修会として各県の理事を中心に参加します。このクローズ研修会は、各県の取り組みを共有しつつ、参考となる取り組みを自県にて実現することが可能かを検討するものです。今回は、(人材育成)(生涯教育)(災害対策)(地域支援)(臨床実習指導者講習会)をテーマに行い、参考となる取り組みを数多く学ぶことができました。



みなさんのストロングポイントは？

2日目は「管理者とスタッフ間のコミュニケーションの在り方」として、久留米大学文学部社会福祉学科の片岡靖子教授の講演でした。これは、中国5県の士会員であれば、どなたでも参加できるオープン研修会です。

本研修会では、コミュニケーション技法を身につけるだけでなく、スタッフのやる気を引き出す方法、メンタルヘルスに貢献する方法についても学びました。また、多くの演習がある中でも特に「王様ゲーム」はとても面白い演習でした。これは、自身の悩みを王様へ伝え、王様は瞬時にポジティブな返答を一言で伝えるゲームです。このゲームを通して、自分自身の新たなストロングポイントに気づくことができるだけでなく、不安の「解明」ではなく「解決の入口」を見つけることもできます。

チームとして活動することが多い我々作業療法士が、チーム内で生じた不安に対して、ポジティブな思考へ変換しながら発言することで、その不安の解決に向けた入口を見つけることができるかもしれませんね。

ぜひ皆さんも今一度ご自身のストロングポイントについて考えてみてはいかがでしょうか？

2020年は岡山県で開催されます

懇親会にて、岡山士会の妹尾勝利先生(川崎医療福祉大学)から、「来年は、研修会だけでなく実りある交流会にもしたいと考えている。ぜひ多くの方に参加してもらいたい。岡山の美味しいものを食べに来てください！」とご挨拶がありました。

参加したい方は、事務局やお近くの理事にご相談ください



中国ブロックOT対抗 サッカー大会に参加して

益田地域医療センター医師会病院
永見 和佳

10月5日に広島県の杉の泊ホビーフィールドにてサッカー大会が行われました。“女性に優しい”がモットーで女性も参加しやすい大会となっています。具体的に言うとゴールを狙えるのは女性のみです。男性はペナルティエリア内のシュートを禁止されているからです。敵陣の



ゴール前に自分が来たときはプレッシャーはありますが、チームでパスを繋いでゴールを狙います。今年私はたくさんシュートめがけて蹴りましたが入ったのは一本だけでした。こんな実力の私ですが来年もまた参加したいと思っています。空き時間に広島風お好み焼きを食べ勤務先の違うセラピストと交流がもてます。

ぜひ皆様も秋空のもと一緒にサッカーを楽しみましょう。

たすきりしー

介護老人保健施設ケアセンターきすき

雲南市立病院さんよりバトンを受けました、介護老人保健施設ケアセンターきすきです！

職員はPOS合わせて6名在籍し、日々笑顔溢れ楽しく利用者様と向き合っています。

きすきの良さはなんといっても自然に囲まれた最高の環境で、ゆったりとしてリハビリを行えるところが魅力です。

また、令和元年6月より訪問リハビリも始まり、一層リハビリの体制も充実してきています。雲南市の医療・福祉をサポートできるよう頑張っていきたいと思えます！

次は介護老人保健施設ケアセンターかんどさん お願いします。



良いリハビリを提供できるよう日々心がけています。

愉快で個性が強いスタッフと共に、吉賀町地域での唯一の地域医療拠点病院として患者・入所者第一の医療・ケアの実践と、地域への貢献が出来るように努めています。

六日市病院

島根県の最西端にある六日市病院は理学療法士11名、作業療法士8名、言語聴覚士4名のスタッフにより、一般診療（入院、外来）、長期療養病棟、地域包括ケア病床、訪問リハビリテーション、介護療養型老人保健施設に従事しています。また、院外で行われる介護予防事業の取り組みや地域ケア会議への参加を積極的に行っています。吉賀町内のセラピスト情報交換会を定期的開催し、地域の皆様により

福祉用具紹介ページ

専門部 生活環境支援班
えだクリニック 松本和広

前回はリフトについて紹介しました。今回はこれまでのコンセプトとは少し異なる、新しい視点が加わった『歩行車』をご紹介します。メーカーの方に伺いながら情報収集しました。

製品名: **アクトモア Rollz**

メーカー: 株式会社 フロンティア <https://www.frontier-ph.com/main.cgi?c=2/1/1/1/3:17>

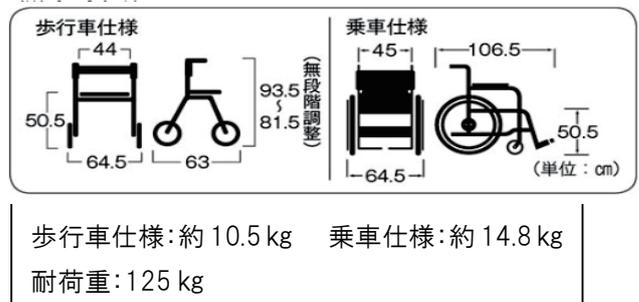
この商品のコンセプトは『**疲れた時に座って移動できる歩行車**』で、最大のポイントは『**車いすのように座れて、乗ったまま移動ができる歩行車**』ことです。

製品開発にあたり、歩行車を利用される方が「**出かけるとき行きは元気だけど、帰りが疲れてしまって歩けなくなるから外出する気持ちが失せてしまう**」という言葉を受けて、同行者がいれば**帰りも心配することなく楽しく外出をしてほしい**というコンセプトのもと、介助がしやすくなるよう歩行車から車いすのような形状に形態変化、まさに『**トランスフォーム**』できます。



そのほか特徴を列挙すると

- 1 乗車仕様では車いすではないので細かくシーティングのセッティングはできません
 - 1 座面もやや硬いため長時間の乗車では痛くなるかもしれません。あくまで一時的な乗車です
 - 1 欧米体型をベースに作成しているため、寸法は全体的に大きい作りになっています(右図)
 - 1 歩行車ですので軽症者でも利用できる
 - 1 歩行車仕様ではハンドルがタイヤの支持面内にあり重心が前方に移動しやすく、推進力が得られやすい
 - 1 重量は最大 14.8 kgと重い(ハッピー2 は約 8 kg)、車載は介護者にとって大変かも
- などなど以上、紙面の都合上簡単ですがご紹介しました。



県士会長 コラム

協会生涯教育制度について

会長 小林 央

「日本作業療法士協会認定作業療法士とは、作業療法の臨床実践、教育、研究及び管理運営に関する一定水準以上の能力を有する作業療法士を本会が認定したものをいう。」とされています。指定講座の受講と事例報告（もしくは学会発表）を行うことで申請をすることができ、全国で1000名あまり、島根県作業療法士会には9名（2019年12月時点）が認定を受けています。

当会では2018年度より生涯教育制度現職者共通研修を2日間で一括受講できるよう企画しています。また2020年からは臨床実習指導者講習会も生涯教育に位置づけられることがすでに報じられており、刻々と生涯教育制度も変化していきます。

私たちの周りを見回すと、求人状況や雇用形態、作業療法の対象や介入期間など、働いている背景が少しずつ変化してきています。私たちは作業療法士という国家資格に加えて、どのような付加価値をもって歩んでいるでしょうか。少なくとも所属協会卒後研修カリキュラムを疎かにすることなく、一定の質を担保する証として、また今後協会生涯教育制度が改変された際に急な対応を迫られることのないよう、生涯教育の計画的受講と認定作業療法士の取得を強くお勧めしています。さあ一緒に取り組んでいきましょう！

*** 認定作業療法士の能力の水準は、臨床実践能力:各病期、各領域などにおける対象者に対する作業療法の評価、介入、効果判定の一連の流れを実践する能力はもとより、他職種との連携や社会資源の活用、職場や行政などの制度の利用を含めた、総合的かつ継続的に作業療法を提供していく過程や予後(将来的展望)に立った作業療法の展開を実践する能力とされています。**

新理事の横顔

島根県作業療法士会会員の皆様、お世話になっております。

この度、理事（学術部副部長）として任命されました岸優斗と申します。

私は回復期病院に勤務しており、主に重度から軽度麻痺を認める脳卒中患者様の方々と関わっております。日々の臨床業務の中では常に「目の前の当事者に私は何が出来るのか？1時間の介入は当事者にとって有益な介入となっているのか？」を思考し、セルフモニタリングを行いながら携わらせて頂いています。現在、脳卒中ガイドライン（2015）では著明な随意性低下を認める対象者



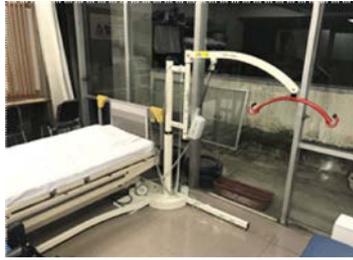
に対しての上肢機能アプローチは確立されておらず、強い有用性と妥当性が担保されていない現状にあると考えられます。これらのリハビリテーションにおける可能性や限界点などの社会的側面にも着目し、並行して臨床研究なども行っております。そして、この現状は作業療法の学術的側面において今後、求められている事であると考えます。従って、今回私が学術部に任命された機会を大切に、少しでも多くの当事者と会員の方々に貢献出来るよう努めて参りたいと思います。至らぬ点多々ございますが何卒宜しくお願ひ申し上げます。

岸 優斗さん

最新福祉用具
株式会社 モリトー
つるべBセット

JCHO 星ヶ丘医療センター 山崎敦広

この度、以前から興味があったリフト、つるべの新バージョンBセットを現場導入し体験したので簡単ではあるが感想を書きました。まず、今回のBセットの大きな特徴は支柱部分のほかにもう一か所関節ができたことです。それにより従来品位比べ各段に細かい操作ができ、利用者を安定して目的位置に下せるようになりました。関節が増え、操作も複雑になったかと思いきや、自然と関節同士が動作連結しており全く困難な印象は感じませんでした。



そして今回ハーネスも一部改良が加えられており、従来のPoPoに使用していたものに新たに背部H型のベルトが装着されました。それにより体幹の安定性が拡大していました。(H型の横ベルトの位置が肩甲骨下角部に来るように設置するほうが望ましいと思いました。)しかし、起立の1層から2層時にメーカーのスリングベルト設置方法ではリフト時に吊り具が体の重心位置(以下COMとする)より後方へ引き上げられ、



後方へ引き上げられる。

これについては独自の考えではありますが、ベルトの固定位置を前後入れ替えることで、第1層から体幹の垂直方向への長さがでて、COMを高くできるとともに、第2層時にも座骨に乗った体重を後方ベルトが引き上げるに伴い、骨盤を前傾させ、足部への荷重をかけやすくなります。また、第3層の離臀時も体幹が後方へ引っ張られるのを幾分軽減できていました。(少なからず前方へ介助者が引きだすことは必要であるが...)



クロスするように設置する



前方への牽引が少し可能になる

近年ノンリフトの概念が世界的に広まり、リフトの需要も広がりに感じています。今回のつるべBセットは介護用品でありながら自立支援を視野に入れたと自己実現および、セルフトレーニングとかなり広く対象とされています。大がかりな道具で、現場ではなかなか使用される機会が少ないリフトですがこれを期に一度リフトを体験してみたいと思います。



撮影協力: 島根リハビリテーションカレッジ卒業
高木太一OTR



豚小間とキャベツのだしバター炒め

めんつゆで簡単に味付け調理
バターと良く合います

材 料

- 豚こま切れ肉 200g
- キャベツ 4枚くらい
- しめじ 1/2パック
- サラダ油 大さじ 1/2
- 有塩バター 10g
- めんつゆ
- 黒コショウ 少々

作り方

1. キャベツを手でちぎり、しめじはほくしておく
2. フライパンにサラダ油を入れて熱し、豚こま切れ肉を入れて肉の色が変わるまで中火で炒める。
3. キャベツ、しめじを加えてしんなりするまで炒める。
4. バター、めんつゆを加えてさっと炒める。黒コショウをふる。

唐辛子などの香辛料が入るとピリツとして◎
辛いのが好きな方はぜひ試してみてください。

男の料理



ジャスミンの ちょっと一言いいかしら

「続ける事、取り組む事って大切」

こんにちは。最近忙しいせいか、ポケモンに飽きてしまったせいか、ほとんど歩かなくなりましたわ。おかげで体重増、ハワイで食べて体重増、正月を経て体重増。膝への負担も増。確実にDX化しているジャスミンよ。このままでは健診も黄色信号よ。大変だ。

さて、歩くことも運動することも何でも続ける事って大切よね。もちろん県士会・広報部としての役割も続けていくことは、とても大切であり、大変な事。広報部でも新たな取り組みを考えたり、そのことを部内で話し合ったり。若い部員からアイデアをもらったりしています。このおおはいごん編集や県士会ホームページの管理など継続して取り組む事と、新規に企画する事業など色々あります。

今年から理事会に参加させて頂く事になりました。一つの新規事業を立てる時には、企画を審議に通したり、段取りが色々ある事を学びました。部員たちの自由なアイデアをきちんと形にしてあげたいし、そんな発言が出来る環境にしたいです。なので、色々頑張りたいわ。

あ、その前に体重管理も頑張ります。

まずは自転車で通勤でもしてみようかしら。健全な精神は健全な身体に。それではまた次回。

財務部より

会費納入について

県士会会費納入はお済ですか？

今一度ご確認の上、納入が完了していない方は速やかにお振込み下さい。
未納2年を超えると大会となることがあります。ご確認の上、
速やかにお振込み下さいますようお願いいたします。

令和2年1月21日 現在 施設数132 会員数525名

一般社団法人 島根県作業療法士会ニュース 年3回発行

□編集担当 白鹿真之介・岩田竜太・足立貴哉・山崎真悟・高木良大・和久利洋平・長谷川藍・山根結衣・石田敦史
□投稿(400字程度)、提案、情報提供を歓迎します。

発行所 一般社団法人島根県作業療法士会

島根県大田市大田町吉永1428-3 大田市立病院作業療法室内

発行者：小林 央／編集者 岩田竜太・白鹿真之介

印刷：障がい者支援施設 授産センターよつば(〒690-0131 松江市打出町43)